

(様式2)



平成30年3月8日

京丹後市議会議長 様

無会派

代表者氏名 松本聖司

調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程
平成29年11月30日(木)～12月1日(金)
- 2 場所
 - ・参議院会館 東京都千代田区永田町2-1-1
 - ・国土交通省 東京都千代田区霞が関2-1-3
- 3 目的
 - ・山陰近畿自動車道整備推進決起大会の参加
 - ・国土交通省へ山陰近畿自動車道路の要望書提出
- 4 該当する政務活動費の使途項目
要請・陳情費
- 5 支出経費の内訳と金額
 - ・交通費・・・32,670円
 - ・宿泊費・・・9,800円
 - 合計 42,470円・・・・・・・・変更後行程表(資料3)
- 6 参加議員名
松本聖司(1名)
- 7 活動成果の概要、所見
別紙資料2のとおり
- 8 成果物、資料等
別紙資料1一式のとおり

資料 1

山陰近畿自動車道の早期整備に関する

要 望 書

平成 29 年 12 月

京丹後市山陰近畿自動車道建設促進議員連盟

要 望 書

京都府北部に位置する京丹後市は、世界認定の山陰海岸ジオパークに代表される豊かな自然やその景観、四季折々の山海の幸とともに悠久の歴史に育まれた優れた文化を有し、これらの地域資源の連携・活用を図りながら新しい価値観を創造し、地域の再生を目指して懸命な努力を続けています。

特に広域高速道路網の整備は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市が将来にわたって発展していくうえで最も重要な課題であります。

しかし、山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路でありながら、日本海側唯一の高速道路の空白地帯になっており、全線事業化の目途さえ立っていない状況です。

近年発生している地震災害やゲリラ豪雨災害においては、道路ネットワークの確立と防災力強化の必要性が再認識されており、危機管理・防災体制の強化の上でも山陰近畿自動車道の早期整備は不可欠であります。

また、本市においては、国益に直結する安全保障のための重要なレーダー施設が配備されており、万が一の危機管理を想定しておくことが絶対不可欠であります。いかなる場合にも、住民の円滑な避難行動を可能にし、都市部からの迅速なバックアップ体制を整えるため、都市部と連結する広域幹線道路網の整備が喫緊に重要不可欠であります。

つきましては、次の要望を実現していただくようお願い申し上げます。

- 1 大宮峰山道路の一日も早い完成に向け、事業進捗に必要な予算を確保されたい。
- 2 大宮峰山 I C から網野 I C までを、国により早期に事業化されたい。
- 3 網野 I C から府県境までの区間について、ルート決定に向けた本調査を実施されたい。

平成 29 年 11 月 30 日

京丹後市山陰近畿自動車道建設促進議員連盟
会 長 谷 津 伸 幸

京丹後市山陰近畿自動車道建設促進議員連盟

会 長	谷 津 伸 幸
副会長	池 田 恵 一
副会長	金 田 琮 仁
幹 事	谷 口 雅 昭
幹 事	浜 岡 大二郎
幹 事	由 利 敏 雄
幹 事	松 本 聖 司
	櫻 井 祐 策
	中 野 正 五
	中 野 勝 友
	東 田 真 希
	平 井 邦 生
	藤 田 太
	松 本 経 一
	水 野 孝 典
	行 待 実
	吉 岡 豊 和
	和 田 正 幸

平成30年3月8日

1. 山陰近畿自動車道整備促進決起大会

1. 開催日時

平成29年11月30日（木） 15:00～16:00

2. 開催場所

参議院議員会館（東京都千代田区永田町）

3. 参加者 約230名（以下おもな出席者）

・山陰近畿自動車道整備促進協議会

山田京都府知事、井戸兵庫県知事、平井鳥取県知事

・山陰近畿自動車道整備促進議員連盟

石破衆議院議員、竹下衆議院議員、足立参議院議員、伊藤参議院議員、末松参議院議員、青木参議院議員、赤澤衆議院議員、繁本衆議院議員、西田参議院議員、田中衆議院議員、二之湯参議院議員、本田太郎衆議院議員、濱村衆議院議員、

・国土交通省

石川道路局長、

・沿線市町長他

三崎京丹後市長、榎本岩美町長、広瀬養父市長、浜上香美町長、西村新温泉町長、伊藤真人(株)丹後王国社長、嶋田鳥取商工会議所流通部会長、

4. 大会概要（主な発言者要旨）

①主催者挨拶 石破衆議院議員

山田知事、井戸知事、平井知事、道路局長有難うございます。課題はいろいろあるが、どうすれば早くできるか考える会としたい。先行取得等多様さ手法があるが、皆さんと議論して1日の速く完成するようお知恵と、お力をお借りしたいと思います。

②要望書手交 竹下自民党総務会長

党のIST推進道路調査会長をしています。道路の会合と聞けば、駆けつけざるえないという思いです。山陰道は、京都、兵庫、鳥取だけでなく鳥取から下関までつながらないと本当の価値は出てこない。皆さんと手を携えて足並みをそろえて1日も早い完成を目指して努力することをお誓いしたい。

③主催者挨拶 山田京都府知事

石破会長をはじめ推進議員連盟の皆様、国土交通省、3府県の関係者の皆さんに感謝申

上げます。台風 18 号、21 号でも、命の道として大きな力となっています。観光も然りです。日本海側の重要な道でありながら 5 割に満たない。関係の皆様が心を一にして早期完成に向けて力を合わせましょう。

④来賓挨拶 石川道路局長

この大会に何回か出席させていただいているが日に日に重たい会合になっており、圧力も強まっていると感じています。京都、兵庫、鳥取で着実に整備が進んでいるが、全体 120 km の 3 分の 1 値の開通である。これから整備を加速させていかなければならない。そのために、調査区間については、熟度を挙げて取り組んでいきたい。3 府県と国がしっかりとスクラムを組んで工夫しながら進めていきたい。予算確保が何より重要瀬すし、地元においては、用地取得の円滑化に協力いただきたい。

⑤井戸兵庫県知事挨拶

⑥平井鳥取県知事挨拶

⑦国会議員意見発表

足立参議院議員、伊藤参議院議員、末松参議院議員、青木参議院議員、赤澤衆議院議員、繁本衆議院議員、西田参議院議員、田中衆議院議員、二之湯参議院議員、本田太郎衆議院議員、濱村衆議院議員

本田衆議院議員挨拶

山陰近畿自動車道路の宮津天橋立 I C の近くに住んでいる私には、生活道路となっています。また、山陰海岸ジオパーク等の広域観光のためにも重要であり、その認識を周りの方にも広めていただき、早期整備を促進するため皆様と力を合わせて頑張ってみましょう。

⑧地元意見発表 伊藤真人(株)丹後王国代表取締役社長

わが社は、京丹後市弥栄町で「道の駅丹後王国食のみやこ」を運営している会社です。2015 年のリノベーションにより、丹後の食を楽しみ、動物と触れ合い、家族で遊べるアトラクション等、西日本最大級の道の駅として親しまれています。京都縦貫道の全通、昨年 11 月の野田川大宮道路の開通によりお丹後に来られるお客様は 3 割増となっています。インバウンドの波も確実に来ており、年間 5000 名を超える来場者を迎えています。彼らの声として、山陰海岸ジオパークを楽しむうえで、よく聞く声は、公共交通とアクセス道路の少なさです。これは、国内の旅行者も同様です。また、丹後の農産物を大都市圏の消費地に出荷していく地域商社の支援にも注力しており、山陰近畿自動車道路の全通は、革命的な変化のもたらすと確信しています。早期完成を心から念願しています。

⑨地元意見発表 嶋田鳥取商工会議所流通部長、西村新温泉町長、

⑩三府県議会議員連盟 山口鳥取県議会議員コメント

⑪がんばろう三唱 榎本岩美町長

⑫三崎京丹後市長

京丹後市長の三崎です。現在、山陰近畿自動車道路の大宮峰山道路の 5 km 区間を事業化いただいています。皆さんと共に一日も早い全線にくけてともに頑張りましょう。

5. 所見

今年の山陰近畿自動車道整備推進決起大は、竹下自民党総務会長も出席をいただき、また、石川道路局長の挨拶にもあったが、日本海側の国土軸の重要性、必要性についての共通認識が、永田町や霞が関で1年前と比べ進んだと強く感じたところである。また、京丹後市かからの参加者についても昨年より増加し、観光関係者、東京の丹後人会の協力もいただき京丹後市の至誠が通じるのではと感謝いたします。地元としても京丹後市内に野田川大宮走路が開通し、日常的に高速道路の恩恵を感じており、自動車道の整備促進の取り組みに手ごたえを感じていし、ますますの推進活動の盛り上がりが必要と考えます。

京丹後市からの、地元意見発表者の丹後王国の伊藤社長の地元意見発表についても、京都縦貫道路の全線開通、大宮道路の京丹後市への乗り入れによる交流人口の拡大や、市内農産物の流通、外国人旅行者からの要望等中央に情報として伝えるには最適な内容であったと感謝しているところです。



※3府県の知事からの要望書提出

※山陰近畿自動車道建設促進議員の参加風景



II. 国土交通省要請・陳情活層

1. 訪問日時

平成29年12月1日(木) 11:00~11:20

2. 訪問先

国土交通省道路局 局長 石川雄一氏

3. 要請・陳情活動内容

松本経一議長、私(松本聖司)を含めた12名の市議会議員及び議会事務局長で、国土交通省にて、道路局長の石川雄一氏を訪問し、冒頭に京丹後市山陰近畿自動車道建設促進議員連盟の会長、谷津伸幸議員より要望書を直接手渡したところです。その後、短時間ではありますが意見交換の時間を取っていただきました。石川局長からは、今年、全国の高速道路にナンバリングを行った話があり、国道との関係で山陰近畿自動車道道路については、No.9となったこと、その分全国の高速道路の中の位置づけも高く、早期に全線開通に向けて取り組んでいくので地元としても、議会としても一層の取り組みをお願いしたいとのことであった。最後に道路局長と参加議員で写真を撮り退出してとところです。

4. 所見

短時間とはいえ、京丹後市山陰近畿自動車道建設促進議員連盟として直接、道路局長に訪問し、山陰近畿自動車道道路の①大宮峰山道路の早期完成 ②国の直轄事業としての網野ICまでの事業化 ③兵庫県境までのルート決定を要望できたことに意義があったと考える。その後、京都府の副知事として出向していた大臣官房の総括審議官の岡西康弘氏と面会の約束をしていたが、会合が長引きお会いすることができなかったことは残念でしたが、名刺を受付で渡して国土交通省を後にしたところである。



※石川道路局長との集合写真